



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

2014年
6月22日号
原発再稼働
反対特集

発行／日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 286-3977
E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP <http://jcp-kagoshima.com>
Facebook ページ『日本共産党鹿児島県議団』への「いいね!」をお願いします。

ご意見・ご要望を
お寄せください

県庁前に
1000人

要援護者の避難計画不備を問う

川内原発の再稼働を許さない!



6月13日、県庁前にて、川内原発再稼働反対を訴える集会が開かれました。全国から1000人を超える参加者でした。まつざき真琴県議は、集会に参加し連帯のあいさつを行いました。

「6月議会では、これまでさまざまみなさんが署名を行ってこられた、また住民や自治体へのアンケートを取組んでこられた、その結果をいかしながら、川内原発の再稼働に正義はないことをはっきりと示してまいりたいと思います。大飯原発再稼働差し止め訴訟の判決では、住民の存在にかかわる権利は、電気代の高い低いと並べて論じることはできない。原発が



止まったたとえ大幅な貿易赤字を生んだとしても、それは国富の損失ではなく、豊かな国土にそこに根付いて国民が暮らしている営みこそ国富であり、それが続けられないことが国富の損失だとはっきり述べています。この豊かな南九州の郷土とそしてそこに根付いて暮らしを営む私たちの権利、これをしっかりと未来の子どもたちに手渡していくために、私は、今日の思いをしっかりと受けとめ、川内原発再稼働なんとしても阻止するために頑張っていく決意です。どうぞみなさんともに頑張りましょう。」

川内原発ゲート前で 再稼働反対



6月14日、川内原発ゲート前で、全国と県内から駆け付けた220人が再稼働反対集会を開きました。

まつざき県議は、「川内原発の再稼働阻止のたたかいは、原発利益に群がる電力事業者やゼネコン、鉄鋼・セメントメーカー、メガバンクなどの大企業のもうけから住民の命と暮らしを守るたたかいである。全国のみなさんと力を合わせて、川内原発の再稼働をストップさせ、全国の原発ゼロをめざそう」と発言しました。



知事発言に抗議!

6月17日、薩摩川内原発再稼働に反対する「原発ゼロをめざす県民の会」「さよなら原発いのちの会」「原発建設反対連絡協議会」は、伊藤祐一郎知事が原発30キロ圏内の要援護者の避難計画のうち10キロから30キロ圏内の策定について「不可能」「作らない」と発言したことに対して、抗議と申し入れをしました。まつざき県議も同席しました。

原子力安全対策等特別委員会は、7月1日(火)の10時から行われます。ぜひ傍聴にお越しください。

